

【表紙】

【提出書類】 四半期報告書

【根拠条文】 金融商品取引法第24条の4の7第1項

【提出先】 関東財務局長

【提出日】 2020年2月12日

【四半期会計期間】 第81期第3四半期(自 2019年10月1日 至 2019年12月31日)

【会社名】 株式会社牧野フライス製作所

【英訳名】 Makino Milling Machine Co., Ltd.

【代表者の役職氏名】 取締役社長 井上真一

【本店の所在の場所】 東京都目黒区中根2丁目3番19号

【電話番号】 03(3717)1151(代表)

【事務連絡者氏名】 専務取締役管理本部長 永野敏之

【最寄りの連絡場所】 東京都目黒区中根2丁目3番19号

【電話番号】 03(3717)1151(代表)

【事務連絡者氏名】 専務取締役管理本部長 永野敏之

【縦覧に供する場所】 株式会社東京証券取引所
(東京都中央区日本橋兜町2番1号)

第一部 【企業情報】

第1 【企業の概況】

1 【主要な経営指標等の推移】

| 回次 | 第80期 第3四半期 連結累計期間 | 第81期 第3四半期 連結累計期間 | 第80期 |
|--------------------------------|------------------------------|------------------------------|-----------------------------|
| 会計期間 | 自 2018年4月1日 至 2018年12月31日 | 自 2019年4月1日 至 2019年12月31日 | 自 2018年4月1日 至 2019年3月31日 |
| 売上高 (百万円) | 144,478 | 114,728 | 204,709 |
| 経常利益 (百万円) | 15,407 | 2,256 | 21,956 |
| 親会社株主に帰属する 四半期(当期)純利益 (百万円) | 11,987 | 413 | 16,981 |
| 四半期包括利益又は包括利益 (百万円) | 5,907 | 659 | 12,923 |
| 純資産額 (百万円) | 153,930 | 158,402 | 160,946 |
| 総資産額 (百万円) | 264,231 | 255,967 | 269,521 |
| 1株当たり四半期(当期) 純利益 (円) | 485.48 | 16.93 | 689.30 |
| 潜在株式調整後1株当たり 四半期(当期)純利益 (円) | | | |
| 自己資本比率 (%) | 57.9 | 61.6 | 59.4 |

| 回次 | 第80期 第3四半期 連結会計期間 | 第81期 第3四半期 連結会計期間 |
|----------------------------------|-------------------------------|-------------------------------|
| 会計期間 | 自 2018年10月1日 至 2018年12月31日 | 自 2019年10月1日 至 2019年12月31日 |
| 1株当たり四半期純利益 又は1株当たり四半期純損失 (円) | 218.75 | 18.89 |

(注) 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。

2. 売上高には、消費税等は含まれておりません。

3. 潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

4. 2018年10月1日付けで普通株式5株につき普通株式1株の割合で株式併合を行っております。第80期の期首に当該株式併合が行われたと仮定し、1株当たり四半期(当期)純利益を算定しております。

2 【事業の内容】

当第3四半期連結累計期間において、当社グループ(当社及び当社の関係会社)において営まれている事業の内容に重要な変更はありません。

また、主要な関係会社についても異動はありません。

第2 【事業の状況】

1 【事業等のリスク】

当第3四半期連結累計期間における、本四半期報告書に記載した事業の状況、経理の状況等に関する事項のうち、投資者の判断に重要な影響を及ぼす可能性のある事項の発生、又は前事業年度の有価証券報告書に記載した「事業等のリスク」についての重要な変更はありません。

なお、重要事象等は存在していません。

2 【経営者による財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において当社グループ（当社及び連結子会社）が判断したものであります。

(1) 経営成績等の状況の概要

当第3四半期連結累計期間における業績は、連結売上高1,147億28百万円（前年同期比20.6%減）、営業利益15億32百万円（前年同期比89.4%減）、経常利益22億56百万円（前年同期比85.4%減）、純利益4億13百万円（前年同期比96.5%減）となりました。

当第3四半期連結累計期間の連結受注は1,155億58百万円（前年同期比28.4%減）となり、前年同期を下回りました。

第3四半期（2019年10月～12月）における報告セグメント別の受注状況（現地通貨ベース）は以下のとおりです。

（当社報告セグメントはグループの販売体制をもとに構成しています。詳細については第4 経理の状況 1 四半期連結財務諸表 注記事項（セグメント情報等）を参照ください）

セグメント（「個別」および国内連結子会社）

牧野フライズ製作所の国内受注は前年同期を大きく下回りました。

前年同期に好調であった自動車と半導体製造装置の部品加工向けの減少が主な要因です。

受注は来下期から上向くとみています。一部の半導体製造装置関連で設備投資の動きが見られます。また、5Gスマートフォンの開発が進むに伴い、来下期に電子部品関連向けが上向くとみています。自動車向けは厳しい状況が続いており、来下期以降に上向くとみています。航空機向けは、新型機の開発の進捗に伴って、関連した設備投資が出てくるとみています。

セグメント（MAKINO ASIA PTE LTD）

アジアは前年同期に比べ、すべての地域で下回りました。

中国では、前年同期に好調であった自動車向けが減少しました。米中の貿易摩擦の緩和を受けて、新エネルギー車関連を中心に来期以降、滞っていた案件が動き出すとみています。スマートフォン関連では、金型向けを中心に上向くとみています。今後、新型肺炎による製造業への影響が事業活動に及ぶことを懸念しています。

インドは、自動車販売台数の減少による商談の決定延期、および新規引き合いの減少により、前年同期を下回りました。その他、一般機械や航空機向けも引き続き厳しい状況が続いています。受注は、自動車向けの回復に時間を要するため、しばらく低迷が続くとみています。

アセアン地域は、ベトナムとマレーシア向けは堅調でしたが、タイやインドネシア向けの減少により前年同期を下回りました。受注は、半導体製造装置向けを中心に来上期から上向くとみています。このほか医療向けの伸びを期待しています。

セグメント (MAKINO INC.)

アメリカは前年同期並みとなりました。

自動車のSUVやピックアップトラック向けにまとまった受注がありました。医療向けは、人工の関節や歯など、インプラントの部品加工向けが堅調に推移しています。

航空機向けは、一時的に低調だった前年同期に対し、上回る結果となりました。エンジン向けの受注は継続していますが、航空機の一部機種の出荷停止による影響が大きくなっています。

受注は、来下期以降に上向くとみています。生産停止となっている航空機の運航再開に大きく依存するとみています。

セグメント (MAKINO Europe GmbH)

前年同期を大きく下回りました。

航空機向けは引き合いを抱えていましたが、その多くが中止、延期となりました。また、航空機メーカーから当社顧客に対する発注量が減少したことでキャンセルとなった受注がありました。ドイツを中心に景気が低調なため、自動車や一般機械の部品加工向けでは、投資の様子見が継続しています。

受注の本格的な回復にはまだ時間を要するとみています。

以上の通り、当社の受注環境は厳しい状況にあります。こうした中でもお客様からの生産の自動化に対する要求は高度化しています。また、この需要は今後の景気回復とともに拡大するとみています。

当社はこれらに応えるために様々な研究開発と設備投資を継続しています。

今年度に、お客様がスムーズに自動化を導入できるよう、パレット自動搬送システムをパッケージ化した「PZ1」の販売を開始しました。現在は、自動で経路を作成して移動する無人搬送車を開発し、当社工場設備として運用しています。今後この技術をお客様に提供できるよう進めています。

昨年度より、お客様の機械と当社のサービス拠点を無線のネットワークでつなげることで、お客様の機械の状況を当社のサービスエンジニアが遠隔地から確認し、迅速な支援ができるサービス「リモートサポート」の提供を開始しました。

昨年度に拡張したシンガポールの工場と、今年度に拡張予定の中国の工場には、生産の効率化と増産を実現するための設備のみならず、お客様に機械を最も効率的にご利用いただくためのソフトウェアやデータを作成・配信するサービス拠点を設けています。

また、工作機械の音声操作や予知保全等に最新のデジタルテクノロジーを取り入れ、お客様に万全なサポートを提供すべく取り組んでいます。

報告セグメント別の当第3四半期連結累計期間の外部顧客に対する売上高は次のとおりです。

セグメント : 347億27百万円 (前年同期比120億88百万円、25.8%の減少)

セグメント : 353億58百万円 (前年同期比 95億 9 百万円、21.2%の減少)

セグメント : 355億71百万円 (前年同期比 46億19百万円、11.5%の減少)

セグメント : 90億70百万円 (前年同期比 35億32百万円、28.0%の減少)

(2) 財政状態の分析

| | 前連結会計年度末 (2019年3月31日) (百万円) | 当第3四半期 連結会計期間末 (2019年12月31日) (百万円) | 増減金額 (百万円) | 増減比率 (%) |
|---------|-----------------------------------|---|-------------------|-----------------|
| 資産 | 269,521 | 255,967 | 13,553 | 5.0 |
| 負債 | 108,574 | 97,565 | 11,009 | 10.1 |
| (有利子負債) | (34,962) | (35,521) | (558) | (1.6) |
| 純資産 | 160,946 | 158,402 | 2,544 | 1.6 |
| 自己資本比率 | 59.4% | 61.6% | 2.1ポイント | |

当第3四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べ135億53百万円減少し、2,559億67百万円となりました。主な増減としては、受取手形及び売掛金184億47百万円の減少、現金及び現金同等物35億14百万円の減少、リース資産27億19百万円の増加、投資有価証券18億41百万円の増加、たな卸資産17億12百万円の増加などが挙げられます。

負債につきましては、仕入債務92億23百万円の減少、未払法人税等31億63百万円の減少などにより、前連結会計年度末に比べ110億9百万円減少し、975億65百万円となりました。

また、純資産につきましては、利益剰余金27億75百万円の減少、その他有価証券評価差額金13億39百万円の増加、為替換算調整勘定11億95百万円の減少などにより、前連結会計年度末に比べ25億44百万円減少し、1,584億2百万円となりました。

(3) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第3四半期連結累計期間において、事業上及び財務上の対処すべき課題に重要な変更及び新たに生じた課題はありません。

(4) 研究開発活動

当第3四半期連結累計期間の研究開発費の総額は51億24百万円であります。

なお、当第3四半期連結累計期間において当社グループの研究開発活動の状況に重要な変更はありません。

3 【経営上の重要な契約等】

当第3四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等は行われておりません。

第3 【提出会社の状況】

1 【株式等の状況】

(1) 【株式の総数等】

【株式の総数】

| 種類 | 発行可能株式総数(株) |
|------|-------------|
| 普通株式 | 60,000,000 |
| 計 | 60,000,000 |

【発行済株式】

| 種類 | 第3四半期会計期間末 現在発行数(株) (2019年12月31日) | 提出日現在発行数(株) (2020年2月12日) | 上場金融商品取引所 名又は登録認可金融 商品取引業協会名 | 内容 |
|------|---|-----------------------------|------------------------------------|----------------------|
| 普通株式 | 24,893,841 | 24,893,841 | 東京証券取引所 (市場第一部) | 単元株式数は 100株であります。 |
| 計 | 24,893,841 | 24,893,841 | | |

(2) 【新株予約権等の状況】

【ストックオプション制度の内容】

該当事項はありません。

【その他の新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

(3) 【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

(4) 【発行済株式総数、資本金等の推移】

| 年月日 | 発行済株式 総数増減数 (株) | 発行済株式 総数残高 (株) | 資本金増減額 (百万円) | 資本金残高 (百万円) | 資本準備金 増減額 (百万円) | 資本準備金 残高 (百万円) |
|-------------|-----------------------|----------------------|-----------------|----------------|-----------------------|----------------------|
| 2019年12月31日 | | 24,893,841 | | 21,142 | | 14,499 |

(5) 【大株主の状況】

当四半期会計期間は第3四半期会計期間であるため、記載事項はありません。

(6) 【議決権の状況】

当第3四半期会計期間末日現在の「議決権の状況」については、株主名簿の記載内容が確認できないため、記載することができないことから、直前の基準日(2019年9月30日)に基づく株主名簿による記載をしております。

【発行済株式】

2019年9月30日現在

| 区分 | 株式数(株) | 議決権の数(個) | 内容 |
|----------------|--------------------------|----------|---|
| 無議決権株式 | | | |
| 議決権制限株式(自己株式等) | | | |
| 議決権制限株式(その他) | | | |
| 完全議決権株式(自己株式等) | (自己保有株式) 普通株式 449,900 | | 権利内容に何ら限定のない当社における標準となる株式 単元株式数 100株 |
| 完全議決権株式(その他) | 普通株式 24,396,800 | 243,968 | 同上 |
| 単元未満株式 | 普通株式 47,141 | | 権利内容に何ら限定のない当社における標準となる株式 1単元(100株)未満の株式 |
| 発行済株式総数 | 24,893,841 | | |
| 総株主の議決権 | | 243,968 | |

(注) 1 「単元未満株式」欄の普通株式には、当社所有の自己株式11株が含まれております。

2 「完全議決権株式(その他)」欄の普通株式には、証券保管振替機構名義の株式が1,400株(議決権14個)含まれております。

【自己株式等】

2019年9月30日現在

| 所有者の氏名 又は名称 | 所有者の住所 | 自己名義 所有株式数 (株) | 他人名義 所有株式数 (株) | 所有株式数 の合計 (株) | 発行済株式総数 に対する所有 株式数の割合(%) |
|---------------------------|------------------|----------------------|----------------------|---------------------|--------------------------------|
| (自己保有株式) 株式会社牧野フライス製作所 | 東京都目黒区中根二丁目3番19号 | 449,900 | | 449,900 | 1.81 |
| 計 | | 449,900 | | 449,900 | 1.81 |

(注) 当第3四半期会計期間末(2019年12月31日)の自己株式数は450,050株(発行済株式総数に対する割合1.81%)であります。

2 【役員の状況】

前事業年度の有価証券報告書提出日後、当四半期累計期間における役員の異動は、次のとおりであります。

(1) 新任役員

該当事項はありません。

(2) 退任役員

| 役名 | 職名 | 氏名 | 退任年月日 |
|-----|----|-----|-------------------------|
| 取締役 | | 鈴木裕 | 2019年9月14日 (逝去による退任) |

(3) 役職の異動

該当事項はありません。

(4) 異動後の役員の男女別人数及び女性の比率

男性 9名 女性 0名 (役員のうち女性の比率 0%)

第4 【経理の状況】

1. 四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」(平成19年内閣府令第64号)に基づいて作成しております。

2. 監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第3四半期連結会計期間(2019年10月1日から2019年12月31日まで)及び第3四半期連結累計期間(2019年4月1日から2019年12月31日まで)に係る四半期連結財務諸表について、仰星監査法人による四半期レビューを受けております。

1 【四半期連結財務諸表】

(1) 【四半期連結貸借対照表】

(単位：百万円)

| | 前連結会計年度 (2019年3月31日) | 当第3四半期連結会計期間 (2019年12月31日) |
|---------------|-------------------------|-------------------------------|
| 資産の部 | | |
| 流動資産 | | |
| 現金及び預金 | 49,215 | 45,701 |
| 受取手形及び売掛金 | 53,402 | 34,955 |
| 有価証券 | 39 | 42 |
| 商品及び製品 | 17,916 | 22,473 |
| 仕掛品 | 13,192 | 14,653 |
| 原材料及び貯蔵品 | 32,317 | 28,012 |
| その他 | 6,356 | 8,159 |
| 貸倒引当金 | 775 | 846 |
| 流動資産合計 | 171,665 | 153,151 |
| 固定資産 | | |
| 有形固定資産 | | |
| 建物及び構築物（純額） | 32,246 | 31,318 |
| 機械装置及び運搬具（純額） | 9,086 | 9,202 |
| 工具、器具及び備品（純額） | 4,772 | 4,522 |
| 土地 | 17,427 | 17,732 |
| リース資産（純額） | 922 | 3,641 |
| 建設仮勘定 | 1,427 | 2,150 |
| 有形固定資産合計 | 65,882 | 68,568 |
| 無形固定資産 | | |
| その他 | 3,838 | 4,469 |
| 無形固定資産合計 | 3,838 | 4,469 |
| 投資その他の資産 | | |
| 投資有価証券 | 20,828 | 22,670 |
| 長期貸付金 | 559 | 836 |
| 繰延税金資産 | 3,773 | 3,321 |
| 退職給付に係る資産 | 195 | 186 |
| その他 | 3,132 | 3,100 |
| 貸倒引当金 | 353 | 335 |
| 投資その他の資産合計 | 28,135 | 29,778 |
| 固定資産合計 | 97,855 | 102,816 |
| 資産合計 | 269,521 | 255,967 |

(単位：百万円)

| | 前連結会計年度 (2019年3月31日) | 当第3四半期連結会計期間 (2019年12月31日) |
|---------------|-------------------------|-------------------------------|
| 負債の部 | | |
| 流動負債 | | |
| 支払手形及び買掛金 | 16,784 | 11,310 |
| 電子記録債務 | 16,490 | 12,740 |
| 短期借入金 | 3,364 | 4,013 |
| 1年内返済予定の長期借入金 | 7,725 | 7,645 |
| リース債務 | 216 | 547 |
| 未払法人税等 | 3,701 | 538 |
| その他 | 26,027 | 22,887 |
| 流動負債合計 | 74,309 | 59,683 |
| 固定負債 | | |
| 社債 | 10,000 | 10,000 |
| 長期借入金 | 13,872 | 13,862 |
| リース債務 | 856 | 2,808 |
| 繰延税金負債 | 4,155 | 5,705 |
| 役員退職慰労引当金 | 99 | 107 |
| 退職給付に係る負債 | 4,047 | 4,113 |
| その他 | 1,234 | 1,285 |
| 固定負債合計 | 34,265 | 37,882 |
| 負債合計 | 108,574 | 97,565 |
| 純資産の部 | | |
| 株主資本 | | |
| 資本金 | 21,142 | 21,142 |
| 資本剰余金 | 37,070 | 37,070 |
| 利益剰余金 | 95,782 | 93,007 |
| 自己株式 | 2,009 | 2,010 |
| 株主資本合計 | 151,986 | 149,210 |
| その他の包括利益累計額 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 10,823 | 12,163 |
| 為替換算調整勘定 | 79 | 1,116 |
| 退職給付に係る調整累計額 | 2,774 | 2,675 |
| その他の包括利益累計額合計 | 8,128 | 8,371 |
| 非支配株主持分 | 831 | 820 |
| 純資産合計 | 160,946 | 158,402 |
| 負債純資産合計 | 269,521 | 255,967 |

(2) 【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

【四半期連結損益計算書】

【第3四半期連結累計期間】

(単位：百万円)

| | 前第3四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年12月31日) | 当第3四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年12月31日) |
|------------------|--|--|
| 売上高 | 144,478 | 114,728 |
| 売上原価 | 98,195 | 84,320 |
| 売上総利益 | 46,283 | 30,407 |
| 販売費及び一般管理費 | 31,806 | 28,875 |
| 営業利益 | 14,476 | 1,532 |
| 営業外収益 | | |
| 受取利息及び配当金 | 990 | 722 |
| 受取賃貸料 | 195 | 377 |
| その他 | 236 | 304 |
| 営業外収益合計 | 1,422 | 1,403 |
| 営業外費用 | | |
| 支払利息 | 241 | 284 |
| 為替差損 | 87 | 361 |
| その他 | 161 | 33 |
| 営業外費用合計 | 490 | 679 |
| 経常利益 | 15,407 | 2,256 |
| 特別利益 | | |
| 固定資産売却益 | 164 | 63 |
| 投資有価証券売却益 | 246 | 30 |
| 特別利益合計 | 411 | 94 |
| 特別損失 | | |
| 固定資産除却損 | 35 | 73 |
| 特別損失合計 | 35 | 73 |
| 税金等調整前四半期純利益 | 15,782 | 2,277 |
| 法人税等 | 3,769 | 1,860 |
| 四半期純利益 | 12,012 | 416 |
| 非支配株主に帰属する四半期純利益 | 25 | 2 |
| 親会社株主に帰属する四半期純利益 | 11,987 | 413 |

【四半期連結包括利益計算書】

【第3四半期連結累計期間】

(単位：百万円)

| | 前第3四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年12月31日) | 当第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日) |
|-----------------|--|--|
| 四半期純利益 | 12,012 | 416 |
| その他の包括利益 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 6,412 | 1,339 |
| 為替換算調整勘定 | 205 | 1,195 |
| 退職給付に係る調整額 | 100 | 98 |
| その他の包括利益合計 | 6,105 | 243 |
| 四半期包括利益 | 5,907 | 659 |
| (内訳) | | |
| 親会社株主に係る四半期包括利益 | 5,884 | 656 |
| 非支配株主に係る四半期包括利益 | 22 | 3 |

【注記事項】

(継続企業の前提に関する事項)

該当事項はありません。

(会計方針の変更等)

「顧客との契約から生じる収益」(ASC第606号)

| 当第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日) | |
|---|--|
| 一部の在外連結子会社において「顧客との契約から生じる収益」(ASC第606号)を第1四半期連結会計期間より適用しております。ASC第606号の適用については、ASC第606号の経過的な取扱いに従って、第1四半期連結会計期間の期首において、累積的影響額を利益剰余金に加減しております。この結果、当第3四半期連結累計期間の四半期連結財務諸表に与える影響は軽微であります。 | |

「リース」(IFRS第16号)

| 当第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日) | |
|--|--|
| 一部の在外連結子会社においては、第1四半期連結会計期間より、IFRS第16号「リース」を適用しております。これにより、リースの借手は、原則としてすべてのリースを四半期連結貸借対照表に資産及び負債として計上することとしました。IFRS第16号の適用については、経過的な取扱いに従って、第1四半期連結会計期間の期首において、累積的影響額を利益剰余金に加減しております。 | |
| この結果、従前の会計基準を適用した場合と比較して、第1四半期連結会計期間の期首時点で、有形固定資産が2,309百万円、流動負債が312百万円、固定負債が2,017百万円、それぞれ増加しております。なお、当第3四半期連結累計期間の損益に与える影響は軽微であります。 | |

(四半期連結財務諸表の作成にあたり適用した特有の会計処理)

| 当第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日) | |
|---|--|
| 税金費用の計算 | 当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。 |

(四半期連結貸借対照表関係)

四半期連結会計期間末日満期手形の会計処理については、満期日に決済が行われたものとして処理しております。

なお、当第3四半期連結会計期間末日が金融機関の休日であったため、次の四半期連結会計期間末日満期手形を満期日に決済が行われたものとして処理しております。

| | 前連結会計年度 (2019年3月31日) | 当第3四半期連結会計期間 (2019年12月31日) |
|------|-------------------------|-------------------------------|
| 受取手形 | 6百万円 | 191百万円 |
| 支払手形 | 107百万円 | 2百万円 |

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費(のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。)は、次のとおりであります。

| | 前第3四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年12月31日) | 当第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日) |
|-------|--|--|
| 減価償却費 | 4,298百万円 | 4,649百万円 |

(株主資本等関係)

前第3四半期連結累計期間(自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)

1. 配当金支払額

| 決議 | 株式の種類 | 配当金の総額 (百万円) | 1株当たり 配当額(円) | 基準日 | 効力発生日 | 配当の原資 |
|----------------------|-------|-----------------|-----------------|------------|------------|-------|
| 2018年6月21日 定時株主総会 | 普通株式 | 1,120 | 9.00 | 2018年3月31日 | 2018年6月22日 | 利益剰余金 |
| 2018年10月31日 取締役会 | 普通株式 | 1,110 | 9.00 | 2018年9月30日 | 2018年12月5日 | 利益剰余金 |

2. 株主資本の著しい変動

当社は、2018年6月8日開催の取締役会において、会社法第165条第3項の規定により読み替えて適用される同法第156条の規定に基づき、自己株式の取得のための市場買付を実施いたしました。なお当該自己株式の取得は、2018年6月19日(約定ベース)までの買付をもって、終了しています。

1. 取得した株式の種類： 普通株式
2. 取得した株式の数： 219,400株
3. 株式取得価額の総額： 999百万円
4. 自己株式取得の期間： 2018年6月11日～2018年6月19日(約定ベース)
5. 取得方法： 東京証券取引所における市場買付

(注) 当社は2018年10月1日付で5株につき1株の割合で株式併合を実施しており、上記は株式併合後の株式数で表記しております。

当社は、2018年10月31日開催の取締役会において、会社法第165条第3項の規定により読み替えて適用される同法第156条の規定に基づき、自己株式の取得のための市場買付を実施いたしました。なお当該自己株式の取得は、2018年11月22日(約定ベース)までの買付をもって、終了しています。

1. 取得した株式の種類： 普通株式
2. 取得した株式の数： 227,500株
3. 株式取得価額の総額： 999百万円
4. 自己株式取得の期間： 2018年11月1日～2018年11月22日(約定ベース)
5. 取得方法： 東京証券取引所における市場買付

当第3四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)

1. 配当金支払額

| 決議 | 株式の種類 | 配当金の総額 (百万円) | 1株当たり 配当額(円) | 基準日 | 効力発生日 | 配当の原資 |
|----------------------|-------|-----------------|-----------------|------------|------------|-------|
| 2019年6月25日 定時株主総会 | 普通株式 | 1,466 | 60.00 | 2019年3月31日 | 2019年6月26日 | 利益剰余金 |
| 2019年10月31日 取締役会 | 普通株式 | 1,466 | 60.00 | 2019年9月30日 | 2019年12月4日 | 利益剰余金 |

(注) 2018年10月1日付で普通株式5株を1株とする株式併合を実施しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

当社グループの報告セグメントは、当社グループの構成単位のうち、分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社グループの主な事業は工作機械の製造販売であります。製造は日本、アジアで行なっており、販売は海外の重要拠点に子会社を展開して、グローバルな販売活動を行なっております。従いまして、当社グループは下記、
、
の販売体制を基礎とした各社の所在地別のセグメントから構成されております。

報告セグメント¹は、牧野フライス製作所が担当するセグメントであり、主たる地域は日本、韓国、中国、大洋州、ロシア、ノルウェイ、イギリス及びセグメント²、³に含まれないすべての地域です。さらに、国内関係子会社を含んでおります。

報告セグメント⁴は、MAKINO ASIA PTE LTD(シンガポール)が担当するセグメントであり、主たる地域は中国、ASEAN諸国、インドです。

報告セグメント⁵は、MAKINO INC.(アメリカ)が担当するセグメントで、南北アメリカのすべての国です。

報告セグメント⁶は、MAKINO Europe GmbH(ドイツ)が担当するセグメントであり、ヨーロッパ大陸(ノルウェイを除く)のすべての国です。

前第3四半期連結累計期間(自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

| | 報告セグメント | | | | |
|--------------------------|---------|--------|--------|--------|------------|
| | (百万円) | (百万円) | (百万円) | (百万円) | 計 (百万円) |
| 売上高 | | | | | |
| 1. 外部顧客に対する 売上高 | 46,816 | 44,867 | 40,191 | 12,603 | 144,478 |
| 2. セグメント間の内部 売上高又は振替高 | 52,625 | 7,343 | 273 | 58 | 60,300 |
| 計 | 99,441 | 52,211 | 40,464 | 12,661 | 204,779 |
| セグメント利益 又は損失() | 10,467 | 4,761 | 1,253 | 596 | 15,886 |

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：百万円)

| 利益 | 金額 |
|-----------------|--------|
| 報告セグメント計 | 15,886 |
| 未実現利益の消去他 | 1,410 |
| 四半期連結損益計算書の営業利益 | 14,476 |

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

当第3四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

| | 報告セグメント | | | | 計 (百万円) |
|--------------------------|---------|--------|--------|-------|------------|
| | (百万円) | (百万円) | (百万円) | (百万円) | |
| 売上高 | | | | | |
| 1. 外部顧客に対する 売上高 | 34,727 | 35,358 | 35,571 | 9,070 | 114,728 |
| 2. セグメント間の内部 売上高又は振替高 | 39,162 | 5,219 | 242 | 41 | 44,665 |
| 計 | 73,890 | 40,577 | 35,813 | 9,111 | 159,393 |
| セグメント利益 又は損失() | 1,140 | 2,848 | 921 | 1,018 | 1,611 |

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容
(差異調整に関する事項)

(単位：百万円)

| 利益 | 金額 |
|-----------------|-------|
| 報告セグメント計 | 1,611 |
| 未実現利益の消去他 | 79 |
| 四半期連結損益計算書の営業利益 | 1,532 |

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

| 項目 | 前第3四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年12月31日) | 当第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日) |
|----------------------------------|--|--|
| 1株当たり四半期純利益 | 485円48銭 | 16円93銭 |
| (算定上の基礎) | | |
| 親会社株主に帰属する四半期純利益(百万円) | 11,987 | 413 |
| 普通株主に帰属しない金額(百万円) | | |
| 普通株式に係る親会社株主に帰属する 四半期純利益(百万円) | 11,987 | 413 |
| 普通株式の期中平均株式数(千株) | 24,692 | 24,443 |

- (注) 1 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。
2 当社は、2018年10月1日付けで普通株式5株につき普通株式1株の割合で株式併合を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式併合が行われたと仮定し、1株当たり四半期純利益を算定しております。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

2 【その他】

第81期(2019年4月1日から2020年3月31日まで)中間配当について、2019年10月31日開催の取締役会において、2019年9月30日の株主名簿に記録された株主に対し、次のとおり中間配当を行うことを決議いたしました。

| | |
|--------------------|------------|
| 配当金の総額 | 1,466百万円 |
| 1株当たりの金額 | 60円00銭 |
| 支払請求権の効力発生日及び支払開始日 | 2019年12月4日 |

第二部 【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

2020年2月12日

株式会社牧野フリス製作所
取締役会 御中

仰 星 監 査 法 人

| | | | |
|----------------|-------|-------|---|
| 指定社員 業務執行社員 | 公認会計士 | 榎本 尚子 | 印 |
| 指定社員 業務執行社員 | 公認会計士 | 岩淵 誠 | 印 |

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている株式会社牧野フリス製作所の2019年4月1日から2020年3月31日までの連結会計年度の第3四半期連結会計期間（2019年10月1日から2019年12月31日まで）及び第3四半期連結累計期間（2019年4月1日から2019年12月31日まで）に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書及び注記について四半期レビューを行った。

四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、株式会社牧野フリス製作所及び連結子会社の2019年12月31日現在の財政状態及び同日をもって終了する第3四半期連結累計期間の経営成績を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以 上

-
- (注) 1. 上記は四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社（四半期報告書提出会社）が別途保管しております。
2. XBRLデータは四半期レビューの対象には含まれていません。